

成田空港を国家戦略特区に 県が提案

林委員 成田空港は我が国に基幹インフラとして非常に重要な施設である。県はこの一月に国家戦略特区の提案をしたが、その目的として特区の活用により、更なる機能強化の効果を最大化し、成田空港を旅客のみならず貨物空港の東アジアの拠点とすることで、日本の国際競争力の強化につなげるとしている。

林委員 小兒救急急救センター運営費補助事業についてうかがう。事業の概要はどうか。

保健医療担当部長 重篤な小兒救急患者の救命率向上を図るために、全県を対象に全ての重篤な小兒救急患者を365日24時間受け入れることでできる小兒救急救急センターの運営費に対し、国及び県がそれぞれ3分の1ずつ補助するものです。

林委員 当該センターの指定に向けたスケジュールはどうか。

要望 4月に東京女子医科大学附属八千代医療センターを指定する予定です。

本答申を踏まえ、本年春より、重篤な時期を脱した

林委員 今後、センターの救急医療に

は、本答申を踏まえ、本年春より、重篤な時期を脱した

テジタル、県の業務

林委員 デジタル技術の活用等による業務改革の推進についてうかがう。デジタル化の推進とともに、業務改革をどのように進めて

小児救急患者については他の医療機関に円滑に転院できる連携体制を確保センターの最後の砦としての機能が、いつでも十分に発揮できるようにしていただきたい。

ウを府内に提供しながら
デジタル化を進めてまいり
ます。

通計画
町村を支援
ス路線の見直しに資する
用実態調査・実証運行の
支援の2つのメニューに
つて構成されており、今
度は、3市・3事業に対
して合計1100万円の
援を見込んでいます。
林委員 地域公共交通

感を持って進めるよう要請する。革担当が主導しスピーディーに事業で支援することで、どのような効果が期待されるのかを総合企画部長 広域的地域公共交通計画の策定の支援によりまして、ゆっくりや観光振興など、体となった地域にとって最も重要な公共交通ネットワーク構築が期待されます。

また、地域に必要なべく路線の維持・確保が図られますが、これが期待されます。

医東京大女子小児代医療センター

な影響を受けている。しかしながら、成田空港は国内外を結ぶ豊富なネットワークが大きな強みであり、開港以来、日本の空の表玄関としてこれまで多くの方々に利用してきた。今後も貨物の需要に加えてしっかりと旅客需要も取り込み、魅力を維持していく必要があると考えている。

そこでどうかがうが、今回の特区提案において、成田空港を航空貨物の東アジア

こうしたことからも、旅客の拠点にすることだが、外を結ぶ豊富なネットワークについてどう考へているのか。

知事 特区の提案にあたって、物流企業からうかがった話では、「航空貨物は、貨物専用機で輸送するよりも旅客便の貨物スペースを活用して輸送するほうが、低コストかつ需要変動による彈力的なため、旅客便による貨物輸送にシフトする傾向にある」とのことでした。

客と貨物の両輪を軸とした
成田空港を目指す県として
は、航空貨物の東アジアの

空港内外の「一體的」合理的な開発期待

えています。
このため、来年度、総務部に設置する推進体制において、プロセスの改善に必要な視点や手法などのノウハウを庁内に提供しながらデジタル化を進めてまいります。

は、業務プロセスの見直しなど、業務改革について確実に実行し、業務時間の削減や抑制の見通しつつかりと持ちながら、一組みを進めるよう要す。

拠点とする今回の提案は、
旅客ネットワークの更なる充
実にも資すると考えています。

したまちづくりが可能になると考
えています。
要望
林委員 成田空港の置かれた状況は
然厳しく状況にはあるけ
ども、3本目の滑走路を
めた空港の敷地をおよそ
倍にする更なる機能強化
それから、空港地域の周
の「地域づくり」。これは
輪なので、それぞれ着実
進めていかなければなら
い。

東アジアの貨物空港拠点へ

外の一体的・合理的な開発が期待されます。さらに、その利点を踏まえた物流産業等の更なる集積が進み、この地域の持つポテンシャルを最大限生かすことは、知事自らが、国との成田国際空港推進議員発足の会長である二階幹事長へその報告と今後の助力をお願いしたと聞いています。